

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名（

有限会社玉木商店

)

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）（R5.11.30変更）

項目番号	カテゴリー	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) 【非該当】を選択した場合こちらには理由記載	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目																
							1 	2 	3 	4 	5 	6 	7 	8 	9 	10 	11 	12 	13 	14 	15 	16 	17
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本(必須)			経営方針にて「個性を認め合い、共に育ち合う社風」を掲げ、差別禁止を徹底。					5.1 5.2 5.5		8.5 8.7 8.8	10.2 10.3							16.1 16.2 16.7		
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本(必須)			・朝礼、社内会議にてハラスメントの禁止を社長から社員へ徹底している。 ・相談窓口、ホットラインの設置検討。				5.1 5.2 5.5		8.5 8.8								16.1			
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本(必須)			・労働基準法等を厳守している。 ・残業ゼロ、休憩1時間取得のルールを徹底している。							8.5 8.8										
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本(必須)			現在在籍はしていないが交流会・意見交換会の開催により馴染みやすい環境を整備。「確認シート」により自身のスキルに応じた公平な待遇体制を導入済み。			4.4		8.7 8.8	10.2 10.3											
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本(必須)			・エネオスによるSSの環境保全サービスを年1回実施。全国でも中～上位の取り組み状況にある。		3				8											
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本(必須)			・就業規則制定および柔軟な人繋りにより従業員のみならず家族の疾病時等も即時対応が可能。【予定】外部機関活用によるメンタルチェックの実施を検討。		3															
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本(必須)			・シルバー人材を積極採用。産休取得や、シングルマザーのライフスタイルに合わせた雇用形態も柔軟に対応。			5.1 5.5		8.5 10.2 10.3												
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本(必須)			・エネオスやあいおいニッセイ同和による商品知識等の研修会に毎年参加。長野県同友会による幹部候補や新入社員の育成研修も毎年参加。			4	5.5		8 9											
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本(必須)			・賞金表の作成および従業員への開示により賞金体系を明確化している。			5.5		8.5 10.2 10.3												
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ(任意)			・年1回社員の健康診断を実施している。 ・予防接種の補助をしている。		3			8												
11	環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本(必須)			・法規制に則った廃棄物処理に取り組み、廃タイヤ・廃オイルの管理を徹底。											11.6 12		14.1				
12		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本(必須)			・直近2～3年で事務所等のLED化を実施。 ・弊社の電気の使用量を把握しCO2排出量をグラフで見える化している。					7.3						13						
13		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本(必須)			・2018年に洗車機を導入し、水道使用量を削減した。 【予定】数年後に目指す事業多角化においては、設備投資時に太陽光設置・LED灯を予定。					7.2 7.3					12.4 13.3							
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本(必須)			・法令で規制されている有害化学物質を把握し、適正管理している。			3.9	6.3						11.6 12.4							

項目番号	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目																	
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
15	環境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本(必須)			・エネオススタッフガイド等の商品案内ツールを活用し、顧客へ低燃費タイヤやオイル交換の積極提案を実施している。							6.6								15			
16		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本(必須)			・顧客に対しリサイクル商材の商品提案実施。 ・経理関連では裏紙の再利用を徹底												13	14.1					
17		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ(任意)			・水道使用量を把握し管理している。 ・油分離層を通した上で排水している。オイルタンク内のオイル量はデジタル管理している。					6.4	6.6												
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ(任意)		【予定】	【予定】現在ISO14001等の認証取得はしていないが、今後会社の発展状況に応じて取得を検討する。			3.9		6	7					12	13.3	14	15				
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ(任意)			・年2回の読訪湖清掃や、小さな親切運動に参加。 ・長野県SDGs推進企業登録制度に参加し取り組んでいく。											12.6							
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ(任意)		【予定】	【予定】数年後に目指す事業多角化においては、設備投資時に太陽光設置、照明のLED化を予定。						7.2					13							
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ(任意)			・コピー時再生紙や裏紙を活用している。 ・文具品、資材の調達にグリーン商品の購入を心掛けている。											12.2	13	14	15				
22		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本(必須)			・行動規範を社内規則に明示し、懲戒規定を設けている。また、朝礼等で定期的に従業員へ周知徹底。															16	16.5		
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本(必須)			・行動規範を社内規則に明示し、懲戒規定を設けている。また、朝礼等で定期的に従業員へ周知徹底。															16			
24	公正な事業慣行	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本(必須)			・業務の中での知的財産の大切さについて社員に周知、教育をしている。							8.2	8.3	9									
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本(必須)			・個人情報保護の大切さを社員に周知し適正な管理を行っている。 ・R3年に導入したNTTセキュリティシステムにより漏洩、流出防止等の管理を徹底。 ・社員のマイナンバーの適切な管理を行っている。																16		
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ(任意)			・元受先の燃料大手からの納品に限定している。																16		
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ(任意)			・鈴与商事にて年2～3回開催される研修・交流会に参加。 ・鈴与グループ内での関係性強化に取り組む。 ・エネオスグループの事業多角化ビジネスモデルに関して、県外のランドリー併設SS見学等、情報収集を強化。				5		8	10	12	13	14	15	16	17					
28		【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5～追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している ■パートナーシップ構築宣言サイト： https://www.biz-partnership.jp/	基本(必須)		【予定】	「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表予定			3				8	9	10							17		

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
(※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)

○ この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成

○ 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載

○ 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載

※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定